

公表日 令和7年3月27日

事業所名 中津川市発達支援センターつくしんぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導室3室は、指導内容によって可動式パーテーションで仕切って使用しています。今後も、利用定員に合わせて指導室の使い方を検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		40人定員に対し、児童発達支援管理責任者2名、指導担当職員11名で対応しています。配置基準以上の職員数を確保できています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		歩行が不安定な通所児のために手すりを設置しており、バリアフリーに対応している施設です。必要のない情報は児童の目につくところに置かないなどの配慮をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		エアコン設置率100%、床暖房完備の施設です。今後も清潔で、心地よく過ごせる環境を維持するために、職員で毎日丁寧に掃除を行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○		定期的に職員会を開催し、業務改善の検討も行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		自己評価表、保護者向け評価表の結果を職員間で共有し、課題については改善していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		集計結果をホームページで公表しています。結果を踏まえて、職員会等で、改善点について、今後検討していくことを継続します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は、定期的には実施しておりません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		発達支援センター主催による「中津川市発達支援関係職員研修会」を3回実施しました。また、外部研修会に参加や、事業所内研修を年間23回実施しました。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		児童発達支援管理責任者によるアセスメントを実施しています。今後も保護者のニーズや課題をとらえた計画策定に努めます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		臨床心理士による、新版K式発達検査を就園、就学前に実施しています。今後も新版K式発達検査を行い、子どもの発達課題を把握していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに沿った計画策定を行っています。子育てのための支援が関係機関や地域の社会資源の中で展開され、連携されていくように考えていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援が行われています。児童発達支援管理責任者による助言、指導の際確認を行い、より支援計画に沿った支援を行います。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事業所内研修会を企画し、学び合う機会を作っている。午前、午後のグループ指導では、個別支援計画に添った活動が行われていたか、振り返り時間を作っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの好きな物から遊びを広げていく事ができるよう職員は工夫しながら支援をしている。事業所内研修などで、他の職員から学ぶ機会を作っています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの課題に合わせて、個別指導とグループ指導を組み合わせで作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員間の意思疎通を心掛けています。朝礼、夕礼で、活動内容の確認、協力体制の依頼などを行い、スムーズに支援ができるよう心掛けています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、振り返りの時間を取り、その日に気付いたことなどを職員間で共有しています。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の指導記録は当日の記録を徹底しています。個別支援計画の目標の検証と指導内容の改善を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	児童発達支援管理責任者が6か月ごとのモニタリングを実施しています。モニタリングにより、必要に応じて計画の見直しなどを行っています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加している。日頃から担当者子ども様子について話し、課題について周知できるようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	連携する組織が、同市役所の部署のため連携はとりやすいです。システム実務担当者会議に参加し、健康医療課や医療機関、教育関係職員等と連携を図り、発達の気になる子どもに対して、早期発見・早期支援につなげます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	中津川医療的ケア実施要綱に添い、指導医、幼児教育課、各園などと連携し、医療的ケア児検討委員会を開催し、実施計画、実施報告等を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	医療ケアの必要な子どもの主治医や協力医療機関と連絡をとり、指示書をもとに支援している。引き続き同様に支援していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者の同意を得たうえで、支援内容等の情報共有を行っています。就園連絡会に参加し、各幼稚園、こども園、保育園への支援内容の引き継ぎを行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者の同意を得たうえで、支援内容等の情報共有を行っています。支援引継ぎシートを作成し、各学校への支援内容の引継ぎを行います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	東濃地区等近隣の他事業所、専門機関と連携を図り、研修に参加し助言を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	関係部署のご意見も伺いながら、支援クラスのある園との交流を検討します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	相談支援事業所は社会福祉課の実施する会議に2か月に1回参加している。子ども部会には児童発達支援管理責任者及び相談支援専門員が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	指導後に保護者と話す時間を取り、共通理解に努めています。今後も保護者に寄り添い、保護者の立場に立った助言、指導に努めます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	令和6年度は10人が実施しました。保護者同士の交流になり、子どもの行動を冷静に分析出来るようになりましたとの声をいただいております。引き続き保護者の負担にならないよう計画的に実施します。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	令和6年度は10人が実施しました。保護者同士の交流になり、子どもの行動を冷静に分析出来るようになりましたとの声をいただいております。引き続き保護者の負担にならないよう計画的に実施します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	ガイドラインに沿って作成された計画を示しながら、説明を行い、保護者から同意をいただいています。今後も、丁寧な説明に努めます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	保護者からの依頼に対し、担当及び児童発達支援管理責任者が相談・助言を行っています。今後も丁寧に対応に努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	児童発達支援管理責任者が同席し、定期的な役員会や茶話会の実施、学習会の開催など、保護者会の活動を支援しています。今後も同様に支援します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	保護者からの相談には、担当職員や児童発達支援管理責任者が対応を行っています。随時相談に応じています。月に1回相談日を設けて対応することを継続しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月、おたよりを発行し、行事予定などについて情報発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	園や健康医療課などとの情報共有には、保護者の同意をいただき対応しています。SNSなどへの情報のアップについては、職員及び保護者に注意喚起を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	写真や絵カードを使いながら、視覚支援によるアプローチをしています。今後も子どもや保護者に対してわかりやすい支援を行います。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	地域企業の三菱電機OB会ひしの実会に草刈りボランティアに来ていただきました。今後もつくしんぼの行事に地域の方を招き、交流を行います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しています。今後も職員や保護者に周知し訓練を実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	地震、火災、水害などの災害や緊急時に備え、毎年三施設(保育園・子育て支援センター)合同避難訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	通所開始時に、子どもの生育歴や健康状況などについて、保護者にアセスメントシートに記入していただき把握しています。今後もお子さんの健康管理、状況把握を行います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食物アレルギーの有無について、アセスメントシートに記入していただき把握しています。他のお子さんとの間違えを防ぐため使用する机に大きく名前を書き表示するようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット事例が発生したときは、記録を残し、事業所内で情報共有しています。職員会などで、事例に基づき、再発防止の対策を話し合っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	研修を実施し、虐待防止委員会を年3回実施しました。職員会等で事例に対して学び合う機会を作っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関する指針を策定しています。全職員で周知しています。